

令和4年7月29日  
長野市上下水道事業経営審議会資料

# 下水道使用料等について



イメージキャラクター  
みずなちゃん

長野市上下水道局

## ご説明する内容

- 1 本市における下水道使用料等の現状
- 2 下水道使用料等の基本的な考え方
- 3 本市における下水道使用料等の改定の状況

※資料中の数値は、断りがない限り令和3年度の実績値です。

# 1 本市における 下水道使用料等の現状

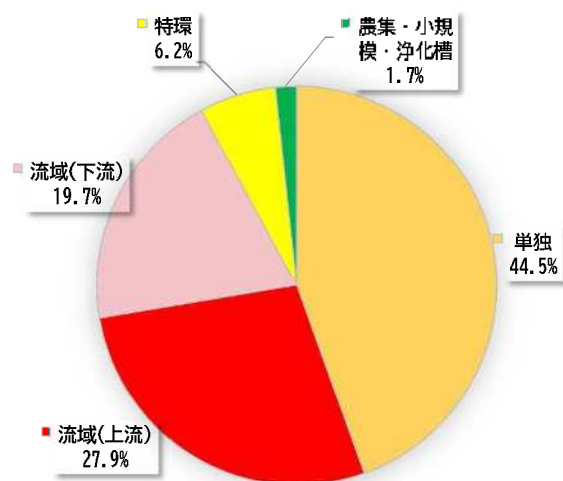


3

## 下水道使用料等収入（令和3年度実績）

（単位：千円、税込）

下水道事業の区分		下水道使用料等収入
公共 下水道	単独公共下水道	3,539,240
	流域関連公共下水道(上流)	2,214,735
	流域関連公共下水道(下流)	1,567,271
特定環境保全公共下水道		495,095
農業集落排水		102,994
小規模排水		1,660
浄化 槽	個別排水	1,907
	特定地域生活排水	29,305
合計		7,952,207



H21. 4～

下水道事業の統合を行い使用料を「下水道使用料等」に一本化

4

# 下水道使用料表

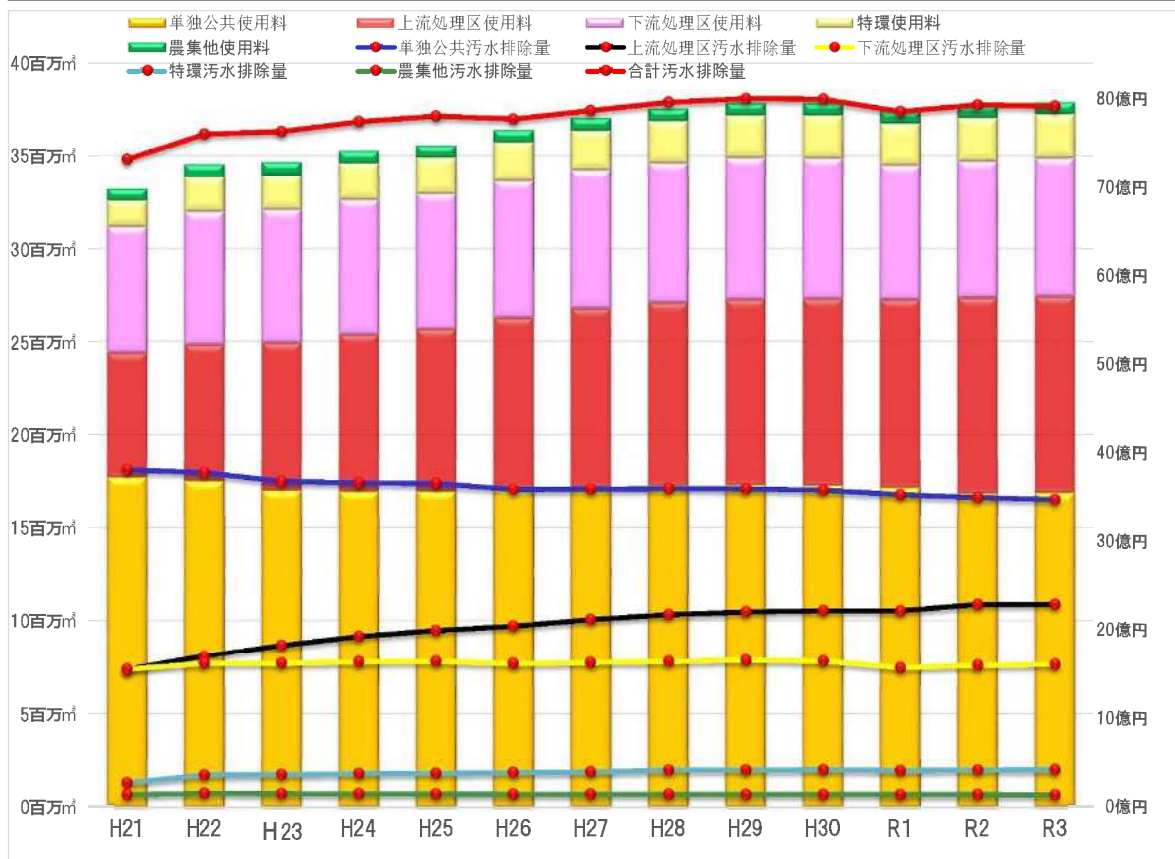
- ・平成18年6月1日改定（改定率8.00%）
- ・令和元年10月1日 消費税率8%→10%に伴う改定

（1か月・税込）

種別	基本使用料		超過使用料(1㎡につき)		
	污水排除量	使用料(円)	污水排除量(㎡)	使用料(円)	段階数
一般污水	8㎡まで	1,488.3	9 ~ 20	170.5	6段階
			21 ~ 50	194.7	
			51 ~ 100	227.7	
			101 ~ 300	259.6	
			301 ~ 500	288.2	
			501 以上	310.2	
別荘污水	10㎡まで	1,829.3	11 ~ 20	170.5	6段階
			21 ~ 50	194.7	
			51 ~ 100	227.7	
			101 ~ 300	259.6	
			301 ~ 500	288.2	
			501 以上	310.2	
公衆浴場污水	8㎡まで	1,111.0	9 ~ 1,200	23.1	2段階
			1,201 以上	44.0	

5

# 污水排除量と使用料の推移



6

# 1 調定当たり汚水排除量の推移



7

## 2 下水道使用料等の基本的な考え方



8

# 公営企業法における 下水道使用料等の基本的な考え方

## 1 経営の原則

### 独立採算制

収入をもって経費を賄う

地方公営企業法第17条の2

第2項 地方公営企業の特別会計においては、その経費は、前項の規定により地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において負担するものを除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない。

## 2 下水道使用料等設定の考え方

### 総括原価方式

地方公営企業法第21条

第1項 地方公共団体は、地方公営企業の給付について料金を徴収することができる。  
第2項 前項の料金は、公正妥当なものでなければならず、かつ、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができるものでなければならない。

9

# 使用料等の基本的な考え方

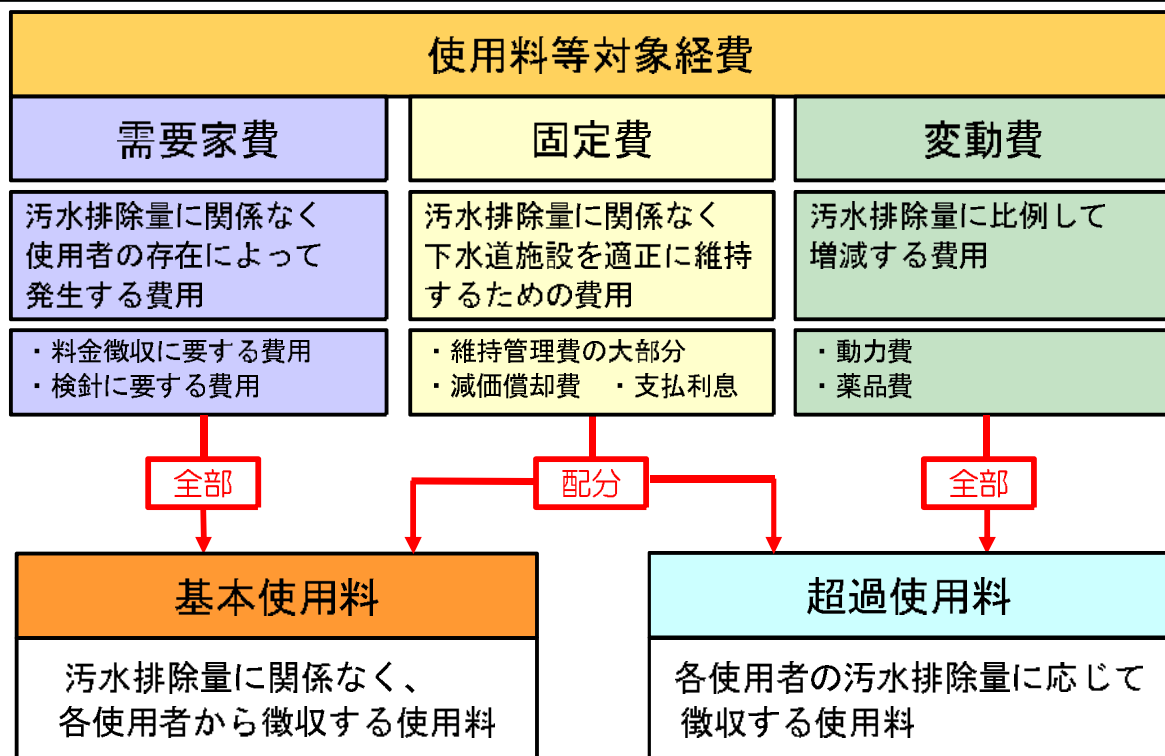
## 総括原価方式

経費の総額（使用料等対象経費）＝使用料等の総額

経 費			収 入	
維持管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管渠費</li> <li>・処理場費</li> <li>・人件費</li> <li>・動力費</li> <li>・委託料</li> </ul> 等	使用料等対象経費	←	下水道使用料等
資本費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減価償却費</li> <li>・企業債支払利息</li> </ul> 等			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水処理費</li> </ul> 等	負担費	←	一般会計繰入金

10

# 使用料体系の設定 総括原価（使用料等対象経費）の配分



## 基本使用料

### 基本水量制

一定の範囲内の汚水排除量について、超過使用料を徴収せず、定額の基本使用料のみの負担とする使用料設定の方法

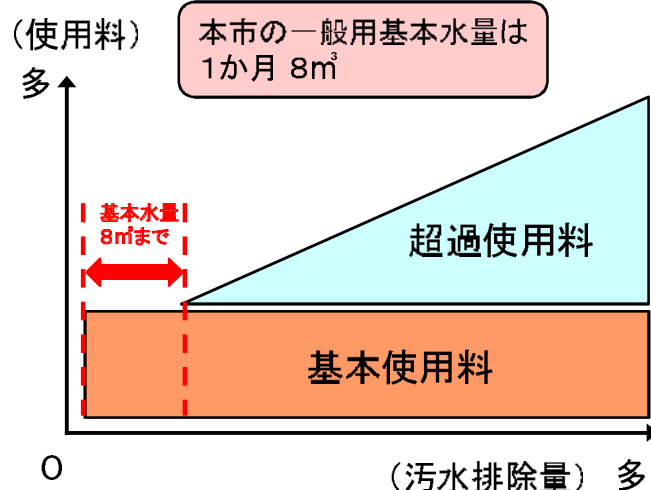
### 基本水量制の目的

日常生活の上で最低限必要な汚水排除量を考慮

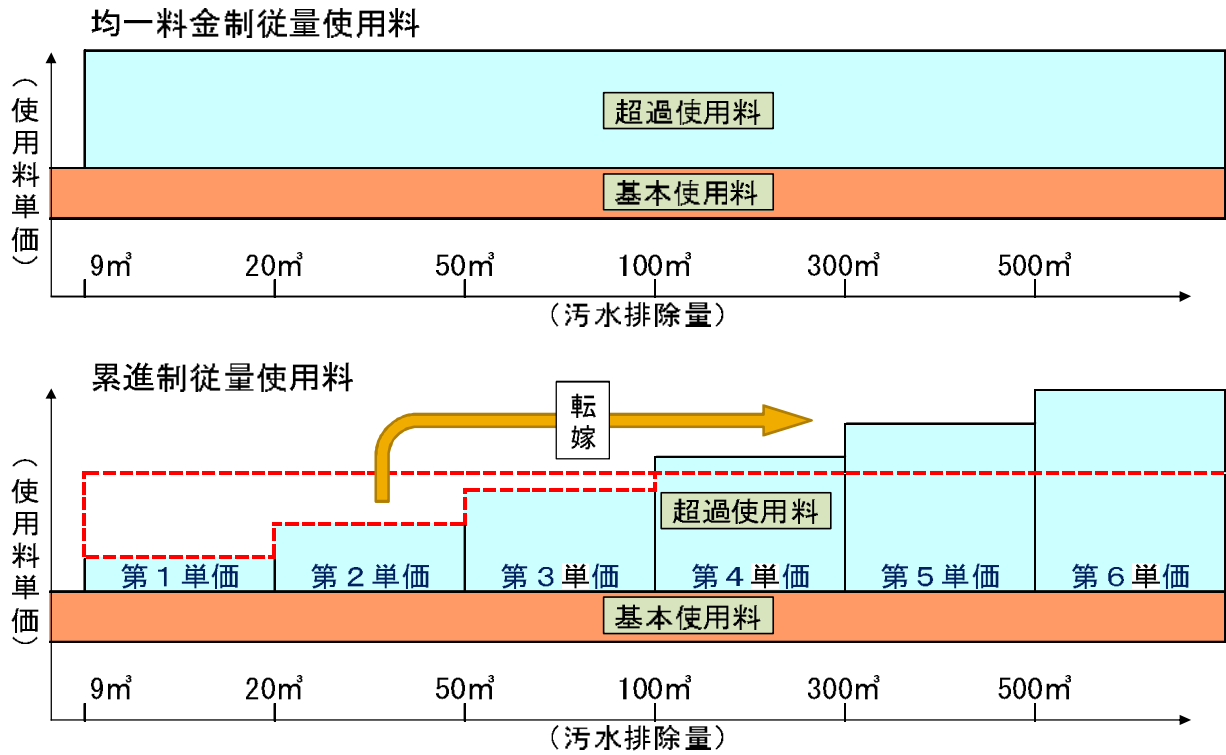
### 他の中核市の基本水量設定

8 <sup>m</sup> 未満	4市
8 <sup>m</sup>	9市
10 <sup>m</sup>	19市
基本水量制未採用	29市

(令和3年11月1日現在 秋田市調査)



# 超過使用料



13

## 3 本市における下水道使用料等の改定の状況

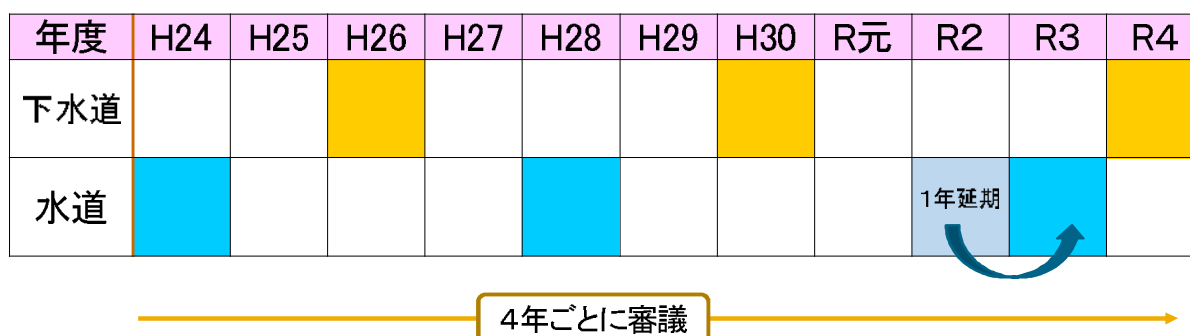


14

## 1 下水道使用料等の算定手順

- ① 下水道使用料の算定期間を決定
- ② 財政推計(概ね10年以内の中期経営予測)に基づき、算定期間の経費総額(=算定期間の料金収入総額)を求める。
- ③ 下水道使用料の料金表を決定

## 2 下水道使用料等審議のサイクル



15

## 下水道使用料等の改定の状況

(税抜)

		基本使用料及び超過使用料単価	平成9年4月1日	平成12年6月1日	平成15年6月1日	平成18年6月1日
一般汚水	基本使用料(円)		1,010	1,170	1,263	1,353
	超過使用料(円)	9 m <sup>3</sup> から 20 m <sup>3</sup> まで	110	130	140	155
		21 m <sup>3</sup> から 50 m <sup>3</sup> まで	130	150	162	177
		51 m <sup>3</sup> から 100 m <sup>3</sup> まで	158	178	192	207
		101 m <sup>3</sup> から 300 m <sup>3</sup> まで	185	205	221	236
		301 m <sup>3</sup> から 500 m <sup>3</sup> まで	213	229	247	262
	501 m <sup>3</sup> 以上	233	247	267	282	

		平成9年4月1日	平成12年6月1日	平成15年6月1日	平成18年6月1日
累進度※		2.12	1.90	1.91	1.82
一般汚水を1月に20m <sup>3</sup> 排除した料金(円)		2,330	2,730	2,943	3,213

※(最も高い超過使用料単価)÷(最も低い超過使用料単価)

16